

# 棚倉町立棚倉中学校 実践研究テーマ:自分のよさを伸ばし、「なりたい自分」の実現に向けてチャレンジする生徒の育成

## サブテーマ:生涯の学びを支える自己マネジメント力の育成(R5)

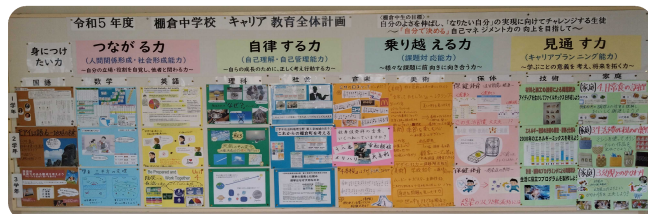
### 【学校教育全体で取り組むために大切にしたこと】

#### ◎生徒の実態把握

- 将来の夢や目標を持っている生徒が多い。
- 人の役に立ちたい、困っている人を助けたいという他者への思いやりを持っている。
- 自分で決めたことをやり遂げたり、自ら考え取り組んだりすることが大切だと考えている。
- ▲他者との関わりの中で、自分の考えを伝えたり、深めたりする力が弱い。
- ▲難しい課題に直面したときに、粘り強く取り組むことが苦手である。
- ▲勉強する際に、やり方を工夫したり、これまでの学習との関連を考えたりする力が弱い。

#### ◎育てたい資質・能力の設定⇒「ほめポイント」として共有

- 1学年 「なりたい自分」発見!
- 2学年 前向きに、全力で挑戦!
- 3学年 志に向かって前進!



#### 【校舎掲示物】～学ぶ意欲の喚起～

- 学年・教科ごとに、将来とのつながりを実感しやすい学習単元をピックアップ
- 教員・生徒の双方が、身に付けたい力を意識

### 【キャリア教育推進に向けた具体的な取組】

#### (1) 立志教育の推進

- 2年生での立志式を契機として、「1年・志を求めて」「2年・志を立てる」「3年・志に向かって」を学習活動の流れとする。
- 棚倉町キャリア教育アドバイザーと連携し、立志教育講演会を計画的に実施する。



～志を立てるために～

「貢献」をテーマに、今までの自分、学級での生活を振り返り、学校や地域に対して自分ができる貢献を考える授業。  
→ 立志式(2月)につなげる

#### (2) 生徒の自発的・自治的な活動の推進

- ◎「自分で決める」をモットーに、「意思決定」「合意形成」の場の組織的・意図的な設定
- 生徒主体の学級活動(1)「学級会」の充実
- キャリア・パスポートの活用  
生徒の「自己理解」と教師の「生徒理解」の促進  
行事ごと、四半期ごとの振り返り・目標作り



～学級会～

生徒自身による議題設定、話し合い、合意形成を目指す。

棚倉町立棚倉中学校 実践研究テーマ:自分のよさを伸ばし、「なりたい自分」の実現に向けてチャレンジする生徒の育成

サブテーマ:生涯の学びを支える自己マネジメント力の育成(R5)

(3) 探究的な活動の推進

◎総合的な学習の時間を中心として、自らテーマを設定して学ぶ探究学習を実施した。「地域と関わる」を大テーマとして、以下の活動を行い、文化祭で発表を行った。

1 学年「棚倉町リーフレット作り」



資料やタブレット、家族へのインタビューなどをもとに、棚倉町のおすすめスポットなどをまとめた。

2 学年「わが町、『TANAGURA』への貢献！」



職場体験や立志式との接続を意識した。興味がある職種ごとにグループ分けを行い、自分が町に貢献できることをまとめた。

3 学年「マニフェスト作成」



自分が町の議員だったらどのような町づくりをするかという視点から、マニフェストを作成した。地域の方々とのパネルディスカッションも参考に、自分が住む地域について理解を深めた。

(4) 「ほめポイント」の明確化と共有

- 各学年・各学期で育てたい資質・能力の設定  
上記を「ほめポイント」として共有
- 肯定的・対話的な関わりの実践  
「心理的安全性」の高い集団づくり  
「否定しない接し方(16の技法)」の実践

令和5年度 第2四半期(7~9月) 学年で育てたい資質・能力

令和5年度 第2四半期(7~9月) 学年で育てたい資質・能力	
1 学年目標	「なりたい自分」発見!
資質・能力	自己理解・自己管理能力
目指す姿	自分や仲間を育てよう
行動の目標	○自分の得意を伸ばし、習熟課題に挑戦する。 ○仲間と協力し、互いに高め合う。

令和5年度 第2四半期(7~9月) 学年で育てたい資質・能力	
2 学年目標	前向きに全力で挑戦!
資質・能力	自己理解・自己管理能力
目指す姿	最後まであきらめない強さをもつ
行動の目標	○小さい目標を立て、見通しを持つ ○方法の改善と向上

令和5年度 第2四半期(7~9月) 学年で育てたい資質・能力	
3 学年目標	志に向かって前進!
資質・能力	自己理解・自己管理能力
目指す姿	自分の強さと戦い、自分を高めよう
行動の目標	○苦手なことに前向きに取り組み (苦手なことを避けない)

【校舎掲示物】～各学年・四半期ごとの目標を意識～

- 生徒も教師も目標を意識し、お互いのよさを認め合う土台を作る。
- 短いスパン(3ヶ月)で目標設定、振り返りを行うことで、日々「なりたい自分」を意識する。

【今後の取組について】

- 子どものためのキャリア教育。子どもの姿による評価・検証を行い、改善を行っていく。
- キャリア教育推進と教科指導を一体的に充実させ、「なりたい自分」の実現に向けて学び続ける生徒の育成を目指す。